
2018年度第2回音環境運営委員会議事録

記録：富来

A. 日時 2018年10月4日(木) 17:00~19:00

B. 場所 建築学会 304 会議室

C. 出席者 古賀貴士(主査)、池上雅之、石渡智秋、大嶋拓也、岡野利行、川井敬二、坂本慎一、佐藤洋、佐久間哲哉、田中学、富田隆太、中澤真司、羽入敏樹、濱田幸雄、平光厚雄、山内崇、富来礼次(幹事)

欠席者 石塚崇、漆戸幸雄、富高隆
(敬称略)

D. 提出資料

資料 2-0 : 2018 年度第 1 回音環境運営委員会議事録(案).pdf

資料 2-1 : 20181004_環境工学本委員会(第 2 回)議題.pdf

資料 2-1 : 20181004_環境工学本委員会(第 2 回)資料.pdf

資料 2-2 : 小委員会設置申請書_SpeechPrivacy_AIJES 作成.pdf

資料 2-2-1 : kankou-kikaku_SpeechPrivacy20180916 案.pdf

E. 議事記録

1. 前回議事録の確認

- ・修正事項 : 3. (2) 「講習会開催について企画書提出が承認」→「音環境運営委員会から企画書を提出することが承認された」
- ・修正事項 : 4. (6) 「スピーチプライビシー」→「スピーチプライバシー」
- ・以上を修正して承認

2. 環境工学本委員会報告 (資料 2-1)

- ・2017 年度出版物販売状況について
⇒残部数の報告。デジタル・オンライン版の販売状況。
⇒委託発行図書「はじめての音響数値シミュレーション プログラミングガイド」の残部 0, 増刷の決定済。
- ・2017 年度講習会事業に関する報告
- ・2017 年度シンポジウム決算報告
- ・2019 年度委員会活動計画案, 予算原案および関係書類提出依頼について
⇒音環境運営委員会内での提出締切 : 10/12 (金)
- ・規準・仕様書等のあり方検討タスクフォース報告書について
⇒公開不可のため運営委員会内で共有。執筆ガイドライン等今後作成の参考にしていただきたいとの報告。
⇒2016 年度運営委員会で議論したことあり。8. (1) の内容等について確認必要。
- ・2018 年度竹中育英会建築助成金交付者の報告
⇒環境工学から 3 名, うち音環境から 1 名へ交付された。
- ・2018 年度鹿島学術振興財団研究助成(自然科学関係)の募集について
⇒申請書提出締切 : 10/11 (木) 17 時(必着)
- ・2018 年度大会学術講演会・建築デザイン発表会発表題数の報告
- ・2018 年度大会学術講演会若手優秀発表賞の実施についての報告
- ・2018 年度大会学術講演会・建築デザイン発表会における英語梗概の題数と比率の報告

- ・ 2019 年度大会関連日程について
 - ⇒11/20 (火) OS 提案締切, 梗概細分類表の変更締切, 4/4 12:00 学術講演会電子投稿締切
 - ⇒細分類・細々分類昨年度検討済。変更追加のご意見があれば 10/17 (水) まで
 - ⇒開催期間を 3 日間から 4 日間 (9/3 (火) ~9/6 (金)) へ変更
- ・ 2019 年度開始特別研究委員会設置提案の募集について
 - ⇒1 特別研究委員会あたり 100 万円/年を上限。設置提案書提出締切: 10/22 (月)
- ・ 2019 年度開始[若手奨励]特別研究委員会設置提案の募集について
 - ⇒1 委員会あたり 100 万円/年を上限。2019 年 4 月 1 日時点で 40 歳以下。設置提案書応募締切: 10/22 (月)
- ・ 常置調査研究委員会の予算配分方法について
 - ⇒全般的に使いにくいいため, 今後検討予定
- ・ 監事意見への対応について
 - ⇒調査研究委員会の再編について, 学術推進委員会による「今後の方針」や「再編のイメージ」が出された。環境系は大きな変更なし。
- ・ 日本建築学会教育賞 (教育業績) 候補業績の推薦について
 - ⇒環境工学からは推薦なし
- ・ 卒業論文等顕彰事業委員会委員の推薦について
 - ⇒熱および都市環境から推薦予定
- ・ 2019 年度大会部門別研究集会 (研究協議会, PD, 研究懇談会) の企画について
 - ⇒2013-2018 の研究集会の参加者数について確認, 環境工学は研究懇談会の参加者数が特に少ない
 - ⇒資料頒布数についても多数の残部が出ている回があるため, 監事意見 (社会貢献) への対応も含め検討が必要
 - ⇒気候災害特別調査委員会・環境工学委員会・(地球環境委員会) より 2019 年度の PD 提案「激甚化する気候災害への横断的・体系的取組みと建築分野の役割」の提案があった
 - ⇒関連して 2018 年度大会の音環境関連発表会場について確認と次年度以降の対策について議論された
 - 3 日間ともほぼ終日立ち見および会場に入れず参加者がでた
 - 2 日目 7:45 にすでに満席, 空き部屋移動を検討するも実行委員長より承認得られず断念
 - 部屋割り方法について情報交換, 過去実績は収集されているが部屋数不足により全ての反映は困難
 - 今後 80 人以下の部屋割りとなった場合, 判明次第再検討を要求することとする
- ・ 環境工学本委員会内の年間予算の配分案について
 - ⇒過去の実績を勘案し, 基本部門と研究部門の予算配分比率の決定方法の提案があった
- ・ 本年度予算執行状況について
 - ⇒予算執行状況に応じて予算配分。環境工学の残額あり。個別委員会で超過していても積極的な使用を推奨。
- ・ 資料 2-1, 187 頁に学術推進委員会および各委員会からの依頼事項がまとめられていることの報告
- ・ 次回 11/16

3. 審議事項

(1)若手優秀賞の選考について (回収資料)

- ・ 主査・幹事より, 4 名の候補を提案があり, 候補者について承認された。
 - ⇒審査員 41 名中 27 名が採点シート提出。3 日目の際点数がやや少ない。
 - ⇒採点者の分布は◎1 割, ○6 割, △3 割, 昨年度とほぼ同様
 - ⇒OS 発表者の取り扱いについて議論され, 他の発表者と同様に扱うことを確認

(2) 大賞推薦候補について

- ・主査より安岡先生の推薦について提案，承認された

(3) 2019 年度大会 OS について

- ・主査より集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会を核として企画を検討することが提案され，承認された．継続してメール審議する．

(4) 小委員会設置申請書：スピーチプライバシーAIJES 規準作成小委について （資料 2-2）

- ・石渡室内音響小委員会主査より刊行企画書の説明があり，承認された．

4. 各小委員会・WG の活動報告

(1) 固体音小委員会

- ・8/23 第 2 回開催。A 特性床衝撃音レベルの計算手法の比較検討の進め方について協議。構造，材料物性などの情報が正確に得られる建設中の建物において，スラブ素面，二重天井なしのデータを委員会で実測することとなり，対象建物選定と測定計画を検討。現場測定 10/16 予定。次回 11/1 予定。
- ・固体音評価法検討 WG
⇒ 7/24 開催。デベロッパーの室内騒音の評価方法・目標値の調査を継続実施。委員から話題提供された「石膏ボード壁の遮音性能へ与える接着剤の影響」，「舞台機構設備動作時騒音の低減対策」，「音楽練習室間の窓枠に起因する遮音性能」について意見交換。次回 10/16 予定。

(2) 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会

- ・7/23 に第 2 回開催。鉄道騒音の測定・評価法を検討するため，郡山市近郊 8 カ所で行なった録音データの分析結果が報告された。普通電車，貨物，新幹線と普通電車同時，新幹線と貨物同時走行など，一ヶ所当たり 1 時間の録音データより， L_{AE} と L_{ASmax} より算出した L_{AE} との相関を調べたところ，極めて高い相関が得られた。今後，録音データより聴感実験用試験音を作成し，被験者実験を行う予定。次回 10/9 予定。

(3) 建築音響測定法小委員会

- ・7/20 に第 2 回，9/25 に第 3 回開催開催。騒音振動研究会（10/9）への投稿依頼について，pu センサー関連 2 編を投稿するに伴い，投稿内容について討議。
- ・大会 OS（9/4 開催）について，幅広い議論がなされ，積極的に意見や質問が出された活発なセッションであったことを確認。
- ・音環境規準検討小委員会から依頼の A 特性遮音評価の可能性と課題について協議。基準遮音性能を D と R_w の基準曲線とし，各バンドを 1dB ずつ変化させたときの A 特性レベル差との関係を試算し，討議。
- ・フランキングや遮音欠損を見つける手段として音響インテンシティを適用する際の室内の吸音条件，センサの違い（pu センサー，2 マイクロホン法など），測定量の違い（近傍粒子速度および近傍音圧など）について，メリット・デメリットを整理する方向で検討。実験計画を検討中。

4) 室内音響小委員会

- ・委員会開催なし。室内音環境向上を目指すコンテンツ発信計画のための WG 立ち上げについて検討中。シンポジウムについては検討中であるが，発信先と内容等の検討に時間を要しており，今年度中開催は難しい可能性。次回未定。
- ・スピーチプライバシーWG
⇒ AIJES 作成のための小委員会申請に必要な作業スケジュール，刊行企画書の内容などの議論。これまで指摘された内容の修正方針に関する検討。
- ・インパルス応答予測・計測 WG

⇒ STI (MTF) をインパルス応答から算出する際のベンチマーク問題作成に関し、これまでの検討で残響時間や、音源からの距離による直/間比の変化によるあたりの変化の傾向を確認。これらの知見をもとに、改めてインパルス応答を測定。今後、問題を作成し、既存の WG ホームページに掲載予定。

・子供のための音環境 WG

⇒ 学校施設の音環境に関する AIJES 改訂内容の検討、保育施設の音環境の視察、音環境問題を抱える保育施設への対応など保育施設への音響設計の普及に向けた活動の継続。各委員の研究活動について意見交換。

(5) 音響数値解析小委員会

- ・10/1 第 2 回開催。音響数値解析を活用した伝送系データベースについて、試行問題を具体的に討論。まずは、最小限の規模で、測定結果との比較も可能な直方体室とすることとなった。今後、条件詳細を詰め、試解析を行う。音響管法による吸音材料音響特性データベースの測定結果取りまとめも行った。最後に次期の体制および活動計画を議論した。次回日程はメール審議。
- ・ソフトウェア WG から、「はじめての音響数値シミュレーション」刊行から年数が経ってきたことから、現 OS 環境におけるサンプルコードの動作確認を行っている旨の報告があった。

(6) 音環境規準検討小委員会

- ・6/4 第 2 回, 7/30 第 3 回開催。スピーチプライバシー AIJ-ES 「スピーチプライバシーの評価規準と設計指針 (仮)」の進捗状況を確認。「集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方」の建築音響測定法小委員会への検討状況の報告。新たな AIJ-ES として吸音性能に関する規準の可能性について議論した。次回 10/18 予定。

(7) 企画・広報 WG

- ・8/23 第 2 回開催。『音環境に関する法規制・規格・規準の現状』改訂について、3 つの SWG (屋外騒音/性能評価/JIS・ISO) の進捗状況を確認した。今回の改定の中で目玉となりうる「性能評価」について、当初の予定より調査に時間を要しているため、今年度中のシンポジウム開催は困難と判断し、来年度秋開催へ計画変更予定。シンポジウム共催の検討について、前回は音環境アカデミックスタンダード WG との共催であったことを確認。内容・ボリュームによっては企画広報 WG 単独開催ではなく、他小委員会との共催についても検討していきたい。次回 10/26 予定。

(8) 司法支援建築会議普及・交流部会 (中澤委員)

- ・第 19 回司法支援建築会議講演会「地盤沈下・傾きを巡る建築紛争の実態と対応」(11 月 29 日(木)13:30~17:30, 建築会館ホール) の開催に向けて、講演会の打合せと普及・交流部会を 10/23 に開催する予定。小規模建築物の基礎を支える「宅地地盤」に関して、地盤改良の不良や擁壁の移動などの結果もたらされる建物の不同沈下や傾きに焦点をあて、建築紛争の実態と紛争に繋がる不具合事象について広く議論する。
- ・大会関連行事として司法支援建築会議が主催して開催した第 8 回建築紛争フォーラム「中小規模建築に関わる建築紛争の現状と課題」(9 月 3 日(月)14:00~17:00, せんだいメディアテーク) に協力。

5. 他学会・研究会の予定

(1) 日本音響学会・建築音響研究会

- ・10/16 神戸大, 11/22 石川四高記念文化交流館, 12/20 神奈川大横浜キャンパス, 1/23 東京理科大森戸記念会館 (騒音・振動研究会と共催), 3/22 京都大桂キャンパス

(2) 日本音響学会・騒音振動研究会

- ・10/9 北方建築総合研究所, 11/27 福島大, 12/12 福岡大, 1/23 東京理科大森戸記念会館 (建築音響研究会と共催)

6. その他

- ・次回開催予定: 2018 年 11 月 16 日 17:00~19:00

以上